

# NewsLetter

## vol.7

November 2009



### 住宅用土台の選定資料を作成しました

#### 長 期 優 良 住 宅 に は 保 存 处 理 木 材 を

今年は、改正省エネ法、長期優良住宅法、住宅瑕疵担保履行法と、住宅関連の法律が次々と施行される重要な年です。これらの法律に共通するのは、これまでのスクラップアンドビルトを改め、質を重視した住宅づくりへの転換を求めているという点です。良質な住宅ストック形成に向けた、住宅の作り手の積極的な対応が望まれています。

住宅の品質向上と長寿命化を図る上で注目したいのが、構造材の性能です。これからの中長期住宅は、地震や台風といった自然災害に耐えて長持ちする物理的な耐用性の高さが求められます。構造躯体を構成して建物を支える構造材の役割は一層重要になります。

このほどカナダツガ・パートナー協会では、構造材の中でも土台に注目した住宅用土台の選定資料を作成しました。土台に関する正しい情報を提供することが狙いです。

土台は地面から近い部分にあり、腐朽や蟻害を受けやすい部位です。長期優良住宅では、劣化対策として製材のJASに規定するK3相当以上の保存処理を行った木材（北海道や東北ではK2以上）か、特定の耐久性区分D1樹種の使用が認定基準となっています。

D1樹種を選ぶ際に注意したいのが、D1樹種であっても辺材には耐久性が期待できないことです。一般的に流通している土台は心持ち材であり、その多くに耐久性が低い辺材部分が含まれています。そのため、保存処理を施した木材の使用が望ましいと言えます。

K3については、D1、D2樹種両方とも同じ薬剤浸潤度が規定されており、この基準に適合する木材はD1、D2樹種とも同じ保存性能が期待できます。従って、長期優良住宅に使用する土台は、K3の保存性能区分を目安にした選定が手段のひとつとなります。

#### 保 存 处 理 に 適 し た カ ナ ダ ツ ガ

長年にわたって現場で支持されてきた、保存処理木材の定番といえる製品がベイツガ土台です。そのほとんどがカナダツガを原料としており、JASに則って「べいつが甲種2級」に格付けして保存処理を行ったものです。カナダツガの特性はそのままに、長期優良住宅で要求される保存性能を確保した優れた土台材です。

カナダツガが保存処理木材の原料として多用されるのは、薬剤が浸潤しやすく、保存処理に適しているためです。良質な木材が安定して供給され、入手しやすい保存処理木材だということも理由のひとつです。

カナダツガの構造材は、高い釘保持力によって金物や構造用合板をしっかりと固定し、耐力壁の変形を抑えて余力のある構造躯体を実現します。この余力が地震発生時には効果を発揮します。

また、カナダツガは将来にわたって供給が途絶えないサステナブルな木材です。カナダ西海岸の森林の6割を占める主要樹種で、厳しい森林法によって伐採後の森林再生が義務づけられています。

長期優良住宅にも安心して使えるカナダツガの保存処理土台をぜひご活用ください。

The brochure includes several sections:

- 土台は緑の下の力持ち**: Describes how the foundation is held firmly by the green below.
- 保存処理木材が安心です**: Assures safety through preservation treatment.
- 長持ち住宅を支える信頼のカナダツガ土台**: Promotes the reliability of Canada Tsuga foundations for long-lasting homes.
- JAS格付製材で安心**: Shows a photo of treated wood labeled "JAS規格認定".
- K3相当にしっかり保存処理**: Shows a photo of treated wood labeled "K3相当".
- 長期優良住宅の土台**: Describes the requirements for long-term residential foundations.
- 申請記入例**: Shows examples of application forms.
- 性能項目等** and **確認項目** tables: List various properties and inspection items for foundation materials.
- 設計内容説明欄** and **記載書類** tables: List design details and required documents.
- カナダツガ・パートナー協会**: Association information.
- 検索 : カナダツガ**: Search function.



## マルダイ秋の大収穫祭に出展しました

### 建築家・構造家との意見交換を実施

全国有数の規模を持つ木材販売店のマルダイ（静岡県富士市、深沢裕一郎社長）が展示会「秋の大収穫祭」を10月6日に開催し、カナダツガ・パートナー協会が参加いたしました。会場内にカナダツガコーナーを設け、釘抜き体験や曲げ体感を通してカナダツガの魅力を訴えました。

展示会には協会の案内で建築家と構造家が来場し、プレカット施設と倉庫の見学を行うとともに、カナダツガを含めた木材利用についての意見交換を行いました。同社はカナダツガのプレカットに力を入れており、加工の現場を紹介するという目的で見学が行われました。

参加したのは、設計アトリエの瀬野和広氏と芳賀宣則氏、i+i 設計事務所の飯塚豊氏、江尻建築構造設計事務所の江尻憲泰氏と藤田実氏です。

設計側から無垢材の取り扱いについて質問があり、「当社は大工・工務店向けの仕事が中心なので、無垢材でも対応しています」（深沢社長）との回答がありました。これまででは設計側の疑問に対して加工の現場が答える機会が少なく、このような機会は有意義との声が参加者から挙がりました。

協会では、木材販売店やビルダーが各地で開催する展示会のお手伝いをしております。カナダツガの釘抜き・曲げ体感やミニセミナーを実施してイベントを盛り上げます。お気軽に協会までお問い合わせください。